

# 会 議 記 録

1. 会 議 第3回酒田市障がい者施策推進協議会並びに酒田市障がい者地域自立支援協議会
2. 日 時 令和3年3月22日（月）14時30分～15時45分
3. 会 場 酒田市民健康センター3階 大研修室
4. 出席者 委員13名出席（2名欠席）
5. 協 議 会長 議事進行

- (1) 第5期障がい者福祉計画及び第6期障がい福祉計画・第2期障がい児福祉計画の策定について  
(事務局説明)

## (会 長)

資料1の意見募集の結果についてで、寄せられた意見の概要 No.1 のところで、下から4行目くらいにある手話通訳、要約筆記など酒田市の対応状況についてどうなっているか。また、その運用状況について件数などお聞きしたい。

## (事務局)

広く市民を対象とする講演会、説明会などがある場合には、各担当課から福祉課へ申請し、手話通訳・要約筆記奉仕員を派遣するという体制になっている。ただ、実際の派遣件数は少ないことから、今後も、全庁的に呼びかけていきたい。

- (2) 障がい者差別解消法への対応について (事務局説明)

## (会 長)

職員の研修については、いろいろなことをされると思うが、差別の解消という観点からどのような内容の研修を行っているのか。

## (事務局)

差別解消の対応要領があり、それに基づいて福祉課の職員が講義形式で研修を行ったところである。各障がいごとにどのような配慮が必要かを、質問しそれに回答してもらうとか、車イスの押し方について、実際車イスを使って行ったりした。新規採用職員については、講義形式で各障がいに関することを説明した。

- (3) 障がい者虐待の状況について (事務局説明)

## (委 員)

使用者による虐待のところについて、もう少し詳しく聞きたい。

**(事務局)**

叩かれたという当事者と事業所側はそのようなことはないという状況であった。当事者の娘さんが労働基準監督署の判断を受けて弁護士と話しをしたが、どうしても納得ができない場合は裁判、法廷手段をとりますかと言われ、その娘さんがアクションを起こして、さらにこちらに相談があったということはない。

**(委員)**

虐待でない判断したところに疑義はないが、やっている方はそうでないと思っても、されている方がいやだと思ったら、それは虐待になるので、罰するというよりも、みんなで協力して無くしていくという形に持っていければ良いと思う。

**(事務局)**

委員が言われたとおり、各相談支援事業所等の関係機関と連携して対応していきたい。

**(会長)**

過去に相談があったケースで障がい者同士で虐待ではなく、ただのけんかだったかもしれないが、そういうパターンもある。

(4) 専門部会の活動状況等について (事務局説明)

**(委員)**

就労支援部会の障がい者支援バザーのところで、各事業所の売上がどのくらいであったか教えてほしい。

**(事務局)**

例年だと2～3日来られる事業所もあり、今年度は1事業所1日と制限したこともあり、比較は難しいが、1回の売上で比較すると特に3月は売上が多いと把握している。今年度の売上については記載のとおりだが、前年度は1回につきの総売上額としては、約40万くらいである。

(5) 障がい者の就労状況について (秋葉委員説明)

**(委員)**

雇用率にカウントされない規模の小さい事業所が、障がい者の雇用に積極的に関わっていただいていると理解してよろしいか。

**(委員)**

そのとおりである。

(委員)

企業の状況が厳しいなか、障がい者の方が仕事をやめるという事例も見受けられるのか。

(委員)

従業員の方で一時休業という形で国の助成金を利用している会社が酒田の中にもたくさんある。今のところ、雇用の維持ということについては、ある一定程度保たれているが、事業をやめたという会社は確かに0ではない。10人規模の会社が事業停止という状況には至っていないというのが現状である。合わせて、障がいがあるからこのコロナ禍の状況でやめてほしいという事案は今のところないと感じている。

(6) 共同生活事業所 仲町ホームの実施状況について (概要・事務局説明 実施状況・委員説明)

(会長)

図面があるが、この施設は何階建ての建物か。

(委員)

皆さんが使って利用してもらうのが1階で、2階が倉庫と休憩室・更衣室となっている。

(会長)

4月1日開所ということで、皆さんが同時に移動してきたのか。

(委員)

4月1日の午後から皆さん移ってきた。他のグループホームから2名が移行されたほか、皆さん長く施設で生活されていたので、初日は大変であった。

(会長)

そうすると、和光園の人数は減ったのか。

(委員)

和光園はもともと2人部屋が基本だったが、仲町ホームへ移動したので、1人部屋が確保できた。ご高齢の方もこちらの方へ移ってきている。

(会長)

非常に手厚いと思う。この入居者に対してこれだけの職員をそろえるのも大変だと思うが、それだけ手をかけていただければさらによくなっていくと思う。

(委員)

もともと障がい者の施設だと入浴などすごく大変で、ここだと新しく利用者さんも喜ばれているのではないかと。また、支援される方も楽になると思うがいかがでしょうか。

(委員)

和光園でも機械浴があったが、グループホームでは基本的にはお風呂場に一人ひとり入ってもらっている。利用者さんも楽しみにしていて、中にはどっちに入ってもいいよということで、好きな方に入ったり、一人ずつゆっくり入ったりしている状況である。実際に支援している方については、機械に乗ってみたいということもあったり好きな方で対応している。

(委員)

定員が各ホーム10名ずつだと、男女で分けそうな感じだが、どのような形でわけているか。

(委員)

利用者の方の支援がいろいろあったり、相性もあり、平日の月～金の日中残る方が6～7名いる。大変心配したが、問題があるということもなく、声をかけあって仲良くされている。

(会長)

精神科病院も以前は男女別病棟としていたが、新しく作るところで男女別というところはまずない。

(会長)

短期入所1名とあるが、緊急一時的な使用の場としてとあるが、例えばどのようなケースを想定しているのか。

(委員)

短期入所については今年度に利用を希望していた方が1名いたが実際に利用にはならず、利用は0である。今後、仲町ホームについての情報発信に努めて、緊急的な使用としては、そのような状況にないわけだが、対応できるようにしていきたい。

(会長)

そのような機能は国の施策としてできたと思うので、虐待の話もあったが、地域の中で緊急時の受入れの場になっていただきたい。

(会長)

それでは皆さんにお諮りしますが、本協議会としては、共同生活事業所 仲町ホームについては、適正に実施していると評価してよろしいか。

(異議なし)

(会長)

本協議会としては、適正に実施しているものと評価する。

(7) あおぞら、かでの支援状況について (事務局説明)  
質問・意見なし

(8) その他 (情報交換)

#### (委員)

先ほどの委員からご質問いただいたことで、我々が把握している雇用率に計上される企業にお勤めの方、中小企業にお勤めの方から非常に多く採用していただいているということは変わらないのだが、令和2年度の123という企業数はあくまで、酒田地域に本社機能を有する会社という形になる。求職登録状況の1,070の中には、酒田地域以外に本社があり酒田で働いている、例えば、全国展開しているスーパーとか、そういったところで働いている方も計上されているということを確認させていただく。

#### (委員)

障がい者バザーのことで、3月にあった時に弁当を買ったところ、ちょっと大丈夫かなと思うようなおかずがあった。その事業所に連絡しようとしたら、弁当に事業所のシールが何も貼られていなかった。バザーであっても、心を寄せてバザーに来てくれる方に対して、きちんと責任を持って提供することからすると、事業所の名前や連絡先などきちんと表示して販売すべきである。せっかく市役所のスペースを使って事業をしているのに、もし事故等があったら大変である。責任をもって対応してほしいということ、市からも指導をお願いしたい。

#### (事務局)

委員が言われたとおり、バザーと言いつつも商品売っていく訳なので、責任のある体制ということについて、各事業所と今のお話のようなことを確認したうえで対応してまいりたい。

#### (会長)

新型コロナウイルスワクチン接種の優先順位であるが、基礎疾患を有する人というカテゴリーがあるが、高齢者の次になる。3月18日の厚労省の部会で基礎疾患には重い精神疾患、知的障がいの方を含めるとあったのでお知らせする。重い精神疾患については、精神疾患の治療のために入院している方、精神障害者保健福祉手帳を所持している方、精神の自立支援医療症で重度かつ継続に該当している方である。知的障がいについては、療育手帳を所持している場合で、もしかしたら、それ以外でも何らかのより柔軟な対応があるのかもしれないが、現時点ではこのような状況である。

8. その他  
なし

9. 閉会